

事業所名

きららSTEM西冠

支援プログラム

作成日

2024年

11月

1日

法人（事業所）理念		楽しく安心して過ごせる「居場所づくり」								
支援方針		得意なこと好きなことが強みとなるように支援しながら自己肯定感の向上につなげていく 得意なこと好きなことで失敗する経験を積み重ねながら「失敗が成功につながる」「失敗は悪いことではない」ことに気づきトライ＆エラーを楽しんでほしい								
営業時間		平日	13	30	19	30	送迎実施の有無	あり	なし	
		土祝/長期休暇	10	時	00	分から				17
支援内容										
本人支援	健康・生活	日常生活に般化することができるように、買い物への付き添いや自主通所への練習に対応。信頼関係が築ける人的環境や居場所となる物理的環境を整え話をたくさん聞いたり、考えていることを受け止めるなど、利用者目線に合わせた関わりを持てるようにしている また、居心地の良い場にするために、見通しが持てやすい指示や教示、クールダウンをする避難場所の確保し居心地の良い環境を整えるように心がけている								
	運動・感覚	興味関心のあるブロックや工作などを取り入れ微細運動や力加減、身体の使い方など作業療法士とともに支援。個別ブースやクールダウンができる場所など様子に合わせて柔軟に対応している。長期休みなど利用時間が長いときには近くの公園で身体を動かす機会も設けている。								
	認知・行動	ゲームやブロック、タブレット、パソコンなどの環境に自分から関わり思考力の芽生えや好奇心、発見を楽しんだり、考えたりしながら自身の生活に取り入れようとしたり、道具を扱ったりするなかで、物の性質や数量、指示書の文字などに対する感覚が豊かさにつなげていく								
	言語コミュニケーション	単語や写真の意味が理解することが出来るように手順書を見ながら活動に取り組み文字や写真を読んで理解（読解）する力を育んだり、その内容を説明する練習や写真を見て「この写真には何が写っているか」「どんな状況か」を言葉で表現するなど興味関心のあるツールを使いながらコミュニケーションの向上につなげていく								
	人間関係社会性	集団生活が苦手だったり、不登校の利用者対応も行っている。個別から少しずつ大人やお友達との関わりを増やしながらか関係を積み重ねてもらえるように支援。慣れるまでは保護者同席にも対応。個別対応の時間と終わりの会や設定活動を設け小集団での関わりを設けながら、ゆっくりお友達や周りの大人との関わりを増やし関係を積み重ねていく								
家族支援		随時希望される保護者との面談実施や利用者の様子から気になることがあれば職員より相談の機会を依頼している。保護者会の開催では情報共有の場を設けたり、外部研修の案内や子育て等の本などの情報提供。				移行支援		社会生活に向けてどのような取り組みがあれば生活しやすいのかを推測しながら、日常生活に必要な買い物の付き添いや就労に向けてのパソコン操作など取り入れている		
地域支援・地域連携		サポートネットワークへの登録や担当者会議への参加、地域公開授業など保護者の同意をもらい可能であれば見学。				職員の質の向上		外部研修への参加や巡回相談を取り入れ内部研修では気づきにくい点を外部の目線からの助言をもらい職員のスキル向上につなげている。		
主な行事等		夏祭りなどの季節を感じる事が出来るイベント。保護者や兄弟姉妹の参加も積極的に行い開かれた事業所でいれるように心がけている								